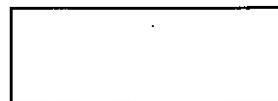


平成 29 年度島根大学大学院
教育学研究科入試問題（I 期）
《教育実践開発専攻（専門職学位課程）》
専門科目

注 意

- 1 問題紙は、指示があるまで開いてはならない。
- 2 問題紙 2 枚、解答用紙 2 枚、下書き用紙 1 枚である。
指示があつてから確認し、解答用紙と下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は、解答用紙に清書すること。
- 4 問題用紙は、持ち帰ること。



《教育実践開発専攻》

専門科目 問題紙 1

1. 以下の(1)から(6)の文章の（ア）～（シ）に当てはまる語句を答えなさい。

- (1) 父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、（ア）を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。
2 国及び地方公共団体は、（イ）教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の（イ）教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。（教育基本法 第10条）
- (2) この法律は、障害者基本法（昭和四十五年法律第八十四号）の基本的な理念にのっとり、全ての障害者が、障害者でない者と等しく、（ウ）を享有する個人としてその尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい生活を保障される権利を有することを踏まえ、障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本的な事項、行政機関等及び事業者における障害を理由とする差別を解消するための措置等を定めることにより、障害を理由とする差別の解消を推進し、もって全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら（エ）する社会の実現に資することを目的とする。
(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律 第1章第1条)
- (3) OECD の行っている（オ）は3年おきに実施されており、「数学的リテラシー」「（カ）」「（キ）」という三つの分野を対象として、参加国・地域の調査を行うものである。
- (4) 学校図書館には、学校図書館の専門的職務を掌らせるために（ク）を置かなければならぬ。また、平成26年6月27日に公布された「学校図書館法の一部を改正する法律」により、学校図書館の運営の改善および向上を図り、児童又は生徒および教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するために、（ク）のほかにいわゆる（ケ）を置くように努めなければならないとされた。
- (5) 小学校においては、文部科学大臣の（コ）を経た教科用図書又は文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を使用しなければならない。（学校教育法 第34条）
- (6) この法律において「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う（サ）又は物理的な影響を与える行為（（シ）を通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。
(いじめ防止対策推進法 第2条第1項)

《教育実践開発専攻》

専門科目 問題紙 2

2 以下の(ア)～(エ)について、いずれかの語句を一つ選び、簡潔に説明しなさい。
なお、選んだ語句を解答用紙に記入しなさい。

(ア)

- (1) 教育学における経験主義
- (2) 社会構成主義

(イ)

- (1) パフォーマンス評価
- (2) 評価規準と評価基準

(ウ)

- (1) Q-U
- (2) 全国学力・学習状況調査

(エ)

- (1) 天井効果
- (2) 自己効力感

3 以下の問いに答えなさい。

(1) 平成 28 年 8 月 28 日に、中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会において「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」が取りまとめられた。その中で改訂の基本方針の一つとして、学びの質を高めていくためには、「アクティブ・ラーニング」の視点から、授業改善の取組を活性化していくことが必要とされている。この「アクティブ・ラーニング」とは何か、次の語句を用いて説明しなさい。

主体的・対話的で深い学び

(2) 生徒指導上の課題や特別支援教育など、学校が抱える課題は、複雑化・困難化し、教員だけで対応するのは質的にも量的にも難しくなってきている。そこで、チームとして課題解決に取り組む体制の整備、いわゆる「チームとしての学校」の在り方が問われている。そこで、「チームとしての学校」とは、具体的にどのような体制にある学校なのか、一般に言われている「チームとしての学校」像を述べなさい。また、「チームとしての学校」を構築するに当たり、必要となる改善方策について、あなたの考えを具体的な根拠を元に論じなさい。